

「第一回熊本県医療人育成総合会議」の開催

近年いわゆる医師不足や医師偏在が社会問題化しました。加えて、二〇三〇年には現在よりも三〇%以上上昇する入院加療需要のピークが来ると予想され、それに有効に対処できるか危惧されています。これらの課題の根底には、人類史上類を見ない高齢社会に突入している日本の現実があると考えられます。一方、先端医療の急速な展開に対応するために医療は専門化・分業化を進めており、日本における医療関連の専門職種は今や二十三にも上ると言われています。したがって、現在あるいは近未来の医療上の課題に取り組む力ギは、チーム医療の促進にあると思われまます。そこに医育を掲げる「肥後医育振興会」の立場から取り組むとした場合、各種専門職医療人育成に関する情報の共有や連携の仲立ちをするという方法があるのではないだろうかという視点から新たな公益事業として始めることになったのが「熊本県医療人育成総合会議」です。

第一回目に当たる今年度の会議は、「チーム医療の現状と課題」をテーマに、平成二十二年十月三十日(土)午後二時から五時まで、熊本大学医学部キャンパス内の医学教育図書棟で開催し、二〇〇名を越す医育関係者や各種医療専門家協会関係者、そして現場の医療従事者や学生の参加者を得て、熱心な討議が行われました。その後、医学総合研究棟で午後七時まで及び交流会も開催できました。今回は、新たな公益事業の初回目ということで、本紙の「理事長挨拶」で詳しく取り上げてもらっており、内

容に関しては一頁目をご参照ください。なお、平成二十二年十二月四日付の熊本日日新聞朝刊でも一頁を使って内容の詳細を報告しています。

目的・熊本における医療人の育成に関して実態を把握するとともに、さまざまな角度から意見を交換し、また、学びあうことにより、地域医療を担う医療人の質的、量的な必要性を満たす教育の在り方を探る。

背景・医療専門職のうち、医師および歯科医師に関しては閣議決定により大学の学生入学者定員が規制されているが、薬剤師を含めてその他の医療専門職については学生定員に関する国家の関与はなく、教育課程と卒業後の国家試験によって管理されているのみである。このような規制緩和の中で、熊本県においても、医療人育成機関の新規開設や専攻系の増設が進んでいる。一方、医療の現場では、異業種専門職集団によるチーム医療が年ごとに重要性を増してきているし、医師不足問題に端を発して、地域医療に対する社会の関心も高まる一方である。また、「医療人教育立県熊本」を提唱する人も

いる。その伏線には、少子高齢社会における医療ニーズの持続的な増大と医療の高度化がある。このような状況の中で、医療関連異業種間の教育担当者や現役の専門家集団並びに行政担当者間で、医療人育成に関して総合的に意見を交換する機会が必要である。ところで、日本において入院加療者がピークを迎えると考えられる二〇三〇年には、全国平均で現在の三〇%を上回る入院ベッドの増加が必要との試算がある。近未来のこのような医療需給の逼迫に備えるには、より効率性の高い医療体制が必要であり、そのた

めには二十三種に及ぶとされる各種医療専門職間の連携が不可欠であろう。ここにおいても医療人育成に関する総合的な議論が必要となる。

参加対象者・医療関係の大学学部や短期大学学部の教育関係者、医療関係の専門学校の教育関係者、各医療技術者協会の代表者、病院関係の代表者、行政関係の担当者、高校進路指導担当者など。方法・毎年一度合同会議や分科会を開催して、医療人教育の在り方に関して多面的な勉強会を開催しながら、熊本県において今後検討すべき事柄や解決すべき問題を抽出し、それらを総合して熊本日日新聞紙面で県民に報告する。その際に、医師数、看護師数などの医療従事技術者の実数、医学部、各種専門学校、学生定員や実数などなど、いろいろ関連する資料を作成して、熊本県における医療人育成の特徴や方向性などの検討に資する。

実行委員会・以上の様な方針に沿って以下のメンバーから成る第一回会議実行委員会を組織した。実行委員・遠藤文夫(実行委員長)、上田信之、木原信市、興梠博次、児玉公道、藤中高子、二塚 信、森田敏子、山本哲郎、事務局・赤木 寛、長澤 功、堀川孝文、山下泰弘

三度に及び実行委員会での会議の内容の詳細を立案し、実施した概要が以下のものである。
実施概要
テーマ・「チーム医療の現状と課題」
医療技術の分業化の急速な進展と地域医療における医師の希少化に対処するという観点から、チーム医療とメディカルスタッフ育成の現状についての認識を

共有する。
日時・平成二十二年十月三十日(土)
開場・午後一時三十分、開演・午後二時

場所・熊本大学医学部キャンパス 医学教育図書棟・医学総合研究棟
《講演・協議会》
会場・熊本大学 医学教育図書棟(三階)第一講義室
開演・午後二時
講演一「メディカルスタッフ養成の現状と課題」……四〇分
文部科学省高等教育局医学教育課長 補佐 渡部廉弘氏
講演二「熊本県におけるメディカルスタッフ育成の現状」……二〇分
熊本県健康福祉部医療政策総室副総室長 藤中高子氏
講演三「教育現場からの報告」熊本における看護教育の現状」……二〇分

熊本大学大学院生命科学研究部教授 森田敏子氏
講演四「熊本大学医学部附属病院におけるチーム医療の現状」……二〇分
熊本大学医学部附属病院長 猪股裕紀洋氏
(休憩……二〇分)
パネルディスカッション……六〇分
進行・九州看護福祉大学長 二塚 信氏
済生会熊本病院 看護部長 道端由美子氏

終了……午後五時
参加費……無料
参加人数……約二〇〇名
《交流会》
会場・熊本大学 医学総合研究棟(三